

GoTo イート 利用詳細

販売価格 1セット10,000円で販売[食事券内訳12,500円分]

期間と購入方法

- Web受付
2020年10月16日(金)～2021年01月31日(日)
Web → ファミリーマート店内のFamiポート → レジにて支払い
- 電話受付
2020年10月16日(金)～2020年11月15日(日)
特設コールセンター → ファミリーマート店内のFamiポート → レジにて支払い **0570-058-890**(10-18時)
- 店頭受付
2020年11月16日(月)～2021年01月31日(日)
直接愛知県内のファミリーマート店内のFamiポート → レジにて支払い

利用期間 2020年10月16日(金)～2021年3月31日(水)

対象エリア 愛知県内のGo To Eatキャンペーンあいに加盟している飲食店

その他 おつりはでません

GoToイート事業コールセンター **0570-029-200**
(年中無休 / 営業時間 10-17時)

インフルエンザ予防接種 子ども、妊婦に補助

対象者	接種回数	助成金額
生後6ヶ月から小学2年生までの子ども	2回まで	各1,000円
妊婦	1回まで	1,000円

*助成対象接種期間…令和2年10月15日～令和3年1月31日
*助成対象者…上記条件に該当し、接種日時点で名古屋市に住民登録がある者
*対象医療機関につきましては、各自ご確認ください

高齢の方なども10月15日より定期接種費用が、無料になります。

**地域のこと行政に関するご相談は
安井しんじ事務所へお寄せください！**

愛知県議会議員

安井しんじ事務所

〒455-0805 名古屋市港区当知町堤外653
(※駐車場あります ※油屋町1丁目バス停下車)

TEL (052) 398-0247 FAX (052) 398-3434

E-mail : sinzi_yasui@yahoo.co.jp URL : <http://sinzi.jp/>



GoTo トラベル 利用イメージ

宿泊施設

①宿泊予約
・宿泊施設に直接
・旅行代理店
・予約サイト経由

②割引
35%程度

③地域共通
クーポン配布
15%程度

**支援額
(代金の
2分の1
相当額)**

■利用期間 2020年7月22日(水)～2021年3月15日(月)
■販売期間 2020年7月22日(水)～2021年1月31日(日)

**GoToトラベル事業コールセンター
(一般利用者)**
0570-002-442 03-6636-9457
(年中無休 / 営業時間 10-19時)

「伊勢神宮新年初詣」 中止のお知らせ

日頃は、安井しんじに多大なるご支援をいただき誠にありがとうございます。

例年、多くの方にご参加いただいております「伊勢神宮新年初詣」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止とさせていただきます。

次回のご参加を心よりお待ちしますとともに、1日も早い新型コロナウイルス感染症の収束に努めて参ります。

★ご友人の方で、事務所だよりが届いていない方がおみえであったり、万一宛名等に誤りがありましたらお手数ですが、事務所までご連絡ください。

お名前

—

ご住所

★ご要望などのご返答がご希望の方は、必ず連絡先をご記入ください。

398-0247 FAX 398-3434

[受付時間] 月曜～金曜 / 9:00～18:00

愛知県議会議員 安井しんじ 事務所だより

編集・発行 安井しんじ事務所 22号

〒455-0805 名古屋市港区当知町堤外653 TEL (052) 398-0247 FAX (052) 398-3434

令和2年度所属 ・建設委員会 ・名古屋港管理組合議会 10月 発行版

令和2年 9月議会一般質問！

■コロナ禍における インフルエンザ対策について

Q (安井しんじ質問)

WHOは「今年はインフルエンザの予防接種を受けることが特に重要だ」と強調し、インフルエンザワクチンを打つ優先順位が最も高い人は妊娠中の女性。次に6～59ヶ月の子ども、高齢者、特定の病気を持つ人、医療従事者と記載している。妊娠中の女性、6ヶ月～59ヶ月の子どもを県女性の対象者にあげると約37万人であり、一人あたり最大1,500円を助成すると、5.55億円となる。

本県として新型コロナウイルス感染症の情勢を勘案し、妊娠中の女性、6ヶ月～59ヶ月の子どもに対しワクチン接種に助成をしてはいかがか。

A (回答)

ワクチン接種の重要性についてもしっかりと啓発を行い、多くの高齢者や妊娠中の女性、子ども等にワクチンを接種していただけるよう、働きかけていく。

Q (安井しんじ質問)

今年はインフルエンザワクチンの需要が高まり、供給不足・供給偏在が生じる危険性がある。行政としてインフルエンザワクチン供給が偏らないよう調整をする必要があると考えるが、いかがか。

A (回答)

医療機関から注文を受けた全量を一括して納入するのではなく、適正に在庫を管理し、インフルエンザワクチンの安定供給に努めていく。

Q (安井しんじ質問)

日本感染症学会は「新型コロナの流行が認められる地域」ではインフルエンザが強く疑われる場合以外はできるだけ両方の検査を実施することを

勧めている。インフルエンザ患者数は過去5年間で最も少なかった昨年で全国729万人。この内8割の方が新型コロナウイルスの抗原検査を受けるとすると583万点の抗原検査キットが必要となる。と同時に相当数のフェイスシールドやサーバカルマスクも必要となってくる。

今年のインフルエンザと新型コロナ感染症の同時流行を見据え、県として必要となる検査体制をどのように整備していくのか伺う。

A (回答)

インフルエンザと新型コロナウイルス感染症が同時流行した場合においても、医療機関が発熱患者等に適切に対応できるよう、今冬に備えて検査体制の整備をしっかりと進めていく。

■愛知県の文化・芸術を守るために の新・国際芸術祭の開催について

Q (安井しんじ質問)

新型コロナウイルスの拡大により、愛知の文化・芸術家や劇団、楽団などアーティストにも大きな影響が出ている。本県も支援策を打ち出しているが、応援金など一時的な支援にとどまらず、芸術・文化の土壌の醸成を図る施策をすべき。地域芸術祭という側面があるので、地元のアーティストたちの活動をどう支援するのか、という意見も寄せられている。

2022年に行われる予定の新・国際芸術祭は愛知県ゆかりの文化・芸術家や劇団、楽団などのアーティストを中心とした県民による県民が心地よくなる芸術祭を行ってはいかがか。

現代の大衆や若者文化の発信基地となるライブハウスにも暗い影を落としている。ライブハウスを中心とした音楽イベントを行い、若者を中心とした祝祭感あふれる芸術祭を行っていただきたいと考えるがいかがか。

A (回答)

より多くの本県ゆかりのアーティストを起用するよう努め、かつ本県の皆様にも親しまれる芸術祭にしていく。

Q (安井しんじ質問)

スポーツにはオリンピックとパラリンピックがあるが、それを融合していくのがアート。今後は例えば、障がい者芸術をテーマに展開していくことも考えてはどうか。という意見が寄せられている。愛知県ゆかりの芸術家のアール・ブリュット(障がいのある人らの作品)やオーディズムミュージック(自閉症の方による音楽)を芸術祭の中の一つの企画として取り上げてはいかがか。

A (回答)

ライブハウスでの音楽イベントやアールブリュット、さらにはオーディズムミュージックにつきましては、今回のご提案を、組織委員会の大林会長や、今後決定する芸術監督と共有し、よりよい芸術祭となるよう取り組んでいく。

■コロナ禍における中小企業支援について

Q (安井しんじ質問)

日本の実質GDPは4月～6月の速報値はマイナス7.9%で、戦後最悪の経済の落ち込み。解雇や雇止めは製造業、宿泊業、小売業、飲食業を中心に全国で60,000人を超えており、本県でも9月18日現在で3,273人が解雇等されると見込まれている。長引くコロナ不況を乗り切るため、国は雇用調整助成金のコロナ特例期間を9月末から年内まで延長をした。雇用調整助成金の利用促進にあたり、本県としてどのように取り組んでいるのか伺う。

A (回答)

1社でも多くの企業に雇用調整助成金を活用して従業員の雇用維持に努めていただくよう、積極的に働きかけていく。

Q (安井しんじ質問)

小規模事業者持続化補助金について。小規模事業者持続化補助金のコロナ特別対応型は小規模事業者が行う新たな取り組みを経営計画に落とし込み、経営に反映させることに意味のある補助金である国が実施する「小規模事業者持続化補助金」について、愛知県内の事業者の採択状況はどうなっているのか。

A (回答)

今年度、第1回及び第2回分の採択事業者が公表されており、本県の事業者の中「コロナ特別対応型」の採択は、1,658件となっている。

Q (安井しんじ質問)

「小規模事業者持続化補助金」に取り組む小規模事業者に対し、どのような支援を行っているか伺う。

A (回答)

小規模事業者持続化補助金を含む各種補助金申請に向けた説明会の開催や事業計画策定支援の相談に対応しております。

今後とも、小規模事業者の経営改善に向け、この補助金の積極的な活用を働きかけていく。

Q (安井しんじ質問)

M&Aはコロナ禍では企業を存続させるための方法としても考えられている。県内の企業で後継者が未定の企業は67.4%で、全国ワースト15位となっていて、「あいち事業継承ネットワーク」は重要なものとなっているものづくり王国といわれる本県だが、不動産業以外すべての業種で後継者不在率が全国平均を上回っている。「愛知県事業引継ぎ支援センター」におけるM&Aの支援実績はどうなっているのか。

A (回答)

今年度のM&A実績は、8月末現在で相談件数は101件、成約件数は既に昨年度の年間件数46件を上回る50件となっている。

Q (安井しんじ質問)

「あいち事業継承ネットワーク」は「愛知県事業引継ぎ支援センター」とどのように連携をしているのか、また今後の取組の方向性も含め伺う。

A (回答)

事業者の経営資源の情報共有を図ってきた。来年度からワンストップ化を進めるため愛知県事業承継総合支援センターに統合する。

**惟信高校・消防団****について議案質疑!**

令和2年

2月議会

議案質疑

■あいち消防団応援の店について

Q (安井しんじ質問)

消防団員は、住民の安全・安心を守るために地域防災力の要として、火災発生時のだけでなく、昨年のような台風災害や、南海トラフ地震などに備えるためにも、なくてはならない存在である。しかし近年、消防団員は全国的に減少する傾向にあります。

本県では、消防団員の確保のため、消防団員やその家族の方が飲食や買い物をした際に料金割引などのサービスを受けられる「あいち消防団応援の店」の制度を運用しているが、私の地元である名古屋市港区の消防団員からは、「『応援の店』のリストにあるのは民間の店舗、施設ばかりなので、県有施設がないのはおかしいのではないか」という声が聞かれた。

消防団員カードや消防団員家族カードを発行する愛知県として、消防団員への県有施設における利用料の割引などについて、どのように考えているのか伺う。

A (回答)

本年4月より愛知県美術館及び陶磁美術館において企画展の観覧料の割引を実施します。さらに関係局と連携して、県有施設の登録に努めていく。



■グローカル人材育成事業について

Q (安井しんじ質問)

「グローカルリーダー育成のための研究」の指定校に私の母校である惟信高等学校が記載されている。惟信高校は国の新たな事業である「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の「グローカル型」に、JICAや名古屋国際センター、名古屋港管理組合や大手海運会社の協力を得て、愛知県からただ1校応募をいたしました。グローカル人材とは、国際的な視点を持ち、その視点を活かして地域経済や社会に貢献する人材である。日本一の貿易港を持つ港区ならではの地域、企業、団体との連携により、学校の将来像や生徒に、自らのあり方、生き方について考えるよい機会となり、大いに期待する。

一方

本県でも、県立学校を対象として「道徳教育推進事業」を実施している。この事業においても、NPOや自治体、地域と連携し、人間としてのあり方、生き方を考えさせ、グローカル人材の育成にもつながる事業であると考える。

道徳教育推進事業におけるこれまでの学校の取り組みや、今後の事業の方向性について伺う。

A

これまででは、地域の外国籍の方との異文化交流体験や、自治会の方と地域社会の未来について意見交換をしたり、環境保護活動に取り組んできました。今後はグローバルな視点を持って地域の活性化や地域の未来に貢献するグローカル人材を育成していく。

名古屋港管理組合 特別委員会

■名古屋港を取り巻く経済環境について

(発言)

名古屋港は日本一の貨物量取り扱い量、貿易額を誇る港である。

地元港区選出議員として昨今の米中貿易摩擦や中国経済の減速などから名古屋港への影響を心配している。世界的に生産活動が落ち込む懸念から、工作機械の受注が落ち込み。また、中国向け自動車部品の輸出額が5ヶ月連続減と、とりわけ主要3品目である完成自動車、自動車部品、産業機械において不透明なものとなっている。

世界経済が不安定な中、産業活動の指標となる主要3品目にスポットを当て、名古屋港がどのように取り組みをすすめていくのか調査・検討することは意義のある事と考える。

更なる議論を進め名古屋港の施策展開につなげていきたい。

